

[TOP page](#)
[資料室](#)
[イベント情報](#)
[講師を探す](#)
[Worker's 広場](#)
[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [自己啓発](#) | [二宮尊徳伝 \(3\)](#)
[労働組合](#)
[労働者福祉・共済](#)
[一般教養](#)
[社会保障](#)
[労使トラブル法律相談Q&A](#)
[労働関係法](#)
[経営全般](#)
[人間関係とコミュニケーション](#)
[ライフプラン](#)
[男女共同参画](#)
[公務員関係法](#)
[日朝の歴史](#)
[7つの習慣](#)
[中東の歴史](#)
[ボランティア活動](#)
[環境活動](#)
[社会貢献活動](#)
[自己啓発](#)
[生涯学習](#)
[外交・防衛問題](#)
[資本論](#)

二宮尊徳伝 (3)

金次郎は2年ほどで伯父の家を出ます。その後は名主の家などいくつかの家に住み込んで働きました。日雇いにも出て給金を稼ぎ、貯まったお金で手放した田んぼを買い戻していきます。20歳の時、自分の生まれた家の跡地に小さな小屋を立てて、そこを生活の拠点とします。そこから8キロほど離れた小田原の町へ野菜や薪の行商に出ますが、そのうちに商人や武士の家へも立ち寄るようになります。商人の家ではソロバンや大福帳のつけ方などを学びました。25歳の時には小田原藩の家老の屋敷に若党として奉公することになりますが、漢学塾に学ぶ子息のお供をして窓の外で先生の講義を聞いて学ぶうちに、子息の家庭教師ができるまでに成長します。子供の頃から独学で勉強していたことに加え、窓の外の漢学塾で儒教の經典である四書五經についての学習を深めたことは、後に金次郎が小田原藩の武士に取り立てられたとき大いに役立ちます。

若党の生活は四年ほどで終わりますが、金次郎はお金が貯まると次々と田んぼを買い増していきます。手に入れた田んぼは小作に出して、自分は相変わらず住み込みや日雇いで稼ぎます。そのうちにお金を貸して利息を取ることも覚えていきます。そうこうしているうちに財産はどんどん増えていき、31歳の時には村でも有数の大地主になっていました。

奉公先のあちこちで金次郎は他の奉公人たちの生活指導をこまごまと行っていました。いろいろな相談を受けてそれに乗ってやり、お金の困った人にはお金を貸してやりました。お金を貸すときには必ず返済できるようにするためにことこまかに返済計画を立てさせます。給金が貯まった人からは、それを預かり、ほかへ融資をして利息を稼いでやりました。このような活動から、金次郎は「五常講」という信用組合のようなものを考え出します。五常とは、儒教の教えの基本である「仁・義・礼・智・信」という道徳的なルールのことです。「五常講」とは、五常という道徳的なルールと金銭貸借という経済的な行為とを調和させ融合させたユニークな発想から生まれました。この「五常講」の考え方は、その後大きく発展していきます。

[\(4\) に続く](#)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録
お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

[教育カリキュラム](#)

[日本国憲法](#)

[傾聴](#)

[語り部スキル](#)

[▶ キーワード検索はこちら](#)

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.